

帰国報告書 経済学科4年 高嶋 南美

(2017年8月～2018年5月 アメリカ：サンディエゴ州立大学)

・留学先大学について

サンディエゴ州立大学はカリフォルニア州で3番目に大きい規模を誇り、3万人を超える学生が80分野で勉強しています。敷地内には白と緑と赤茶の南国を思わせる建物が並び、州最大の大きさを誇る図書館は24時間利用できます。また70か国以上から留学生を受け入れ、メキシコに近いことから学生の人種構成は多様で、大学周辺には各国のレストランも立ち並んでいます。大学では毎日のようにイベントが開催され、新たな出会いの場が常に提供されています。

・学業面について

私は経済学の授業を中心にマーケティングや天文学、サーフィンの授業にも挑戦しました。一番難しく感じたのは、一度日本語で学んだ項目であっても英語からそれを結び付けることです。しかし同じ経済学をアメリカで学ぶ経験は興味深く、日本で得た知識を応用させて現地での勉学に励みました。授業では日本と異なり、プレゼンテーションやグループ課題等他の生徒と協力して取り組む課題が多く課せられますが、これを乗り越えたことで自分に自信が付き、大きな成長へと繋がりました。

・生活面について

私はキャンパス内の寮で3人のルームメイトと9か月間生活を共にしました。彼らは全員協力的で優しく、最も落ち着ける場でそういう環境を得られたことは非常に運が良かったです。平日は比較的寮と学校の往復で、授業後は図書館に行ったり、ジムのヨガクラスに参加したりしていました。週末は友人と過ごし、ビーチやダウンタウンでゆったりとした時間を過ごしました。また毎週国際交流センター主催のイベントがあるので、積極的に参加して交友の輪を広げていました。

この留学生活は、今までで最も刺激的で充実した期間でした。もちろん困難に直面することもあります。それ以上に新しい世界に出会い、自分の可能性が広がる感覚に喜びを感じていました。この経験で得た自信と友人は一生の宝物です。